



自己紹介



あ べ
阿 部

動物病院勤務歴19年くらい

動物病院と愛護センターに勤務歴あり

現在は獣医師2名、看護師5名（1名パート）の
地域密着型一次動物病院に勤務中。

ケース紹介

飼い主さん：40代女性（ご夫婦2人暮らし）

離れて暮らすお子さんが3人 物静かで、おしゃべりではない

動物：シェルティ 女の子

膀胱癌で腎不全もあり、点滴で週1回長期通院中

性格はシャイで、病院関係者とは基本的に目を合わせない

家でもマイペースに過ごしている

ケース紹介

通院し初めの頃は飼い主さんもほとんど話さず、静かな時間が過ぎていた。

飼い主さんの気持ちや要望を読み取りづらく、このまま長期通院が続くのはお互いにとってあまり良くないと感じ、積極的にコミュニケーションを始める事にした。

信頼関係の構築

癌は落ち着いていたが徐々に腎不全が進行していった。
食欲が低下したとの事でいつもの間隔より短めで来院されたが
2.3日後に家で亡くなった。

出勤した日に亡くなった事を聞いたため、仕事後にご挨拶しようと
電話をかけた。

そこで「良ければ会いに来て欲しい」と言われ、ご自宅に挨拶に
伺い、顔を見てお別れの挨拶をさせていただいた。
飼い主さんとは思い出話などをし、最後は笑ってお別れした。

信頼関係の構築方法

- なるべく診察に入る、入らない時は時間を作って声をかける
- 前回の話を忘れずに続ける
- 家での過ごし方を聞く
- どういう経緯で家に来たのかを聞く
- 好きなもの、嫌いなものを聞く
- 食欲低下についてのアドバイスを行う
- 病状の進行について考えうる事を伝える
- 家での接し方について話す

♡ 飼い主さんとのコミュニケーション方法

①

飼い主さんに嫌われない

②

飼い主さんに好かれる

③

飼い主さんに信頼される





質問タイム



ご質問がありましたら
どうぞお気軽にお声がけください